



令和7年度 福島県小学生バレーボール連盟 運 営 基 本 方 針

基本理念「すべては子どもの笑顔のために！」

本県を拠点としたSVリーグのチームが大活躍するなど、バレーボールに関するうれしいニュースが飛び込んだ2024年、全国的にも小学生の登録数がわずかながら増加に転じるなど、明るい話題が聞こえた一方で、全国では、指導者等による暴言や不適切な指導に加え、保護者間のトラブル等によるコンプライアンス事案が後を絶たない状況が続いています。

さらに、記録的猛暑などの気象状況等により、練習場所や大会会場においても、子供たちが危険な環境下でプレーを強いられる場面が日常となっています。

このことを踏まえ、福島県小学生バレーボール連盟は、安全・安心な大会運営はもとより、基本理念である「すべては子どもの笑顔のために」を念頭に、多くの子供たちがバレーボールに興味を持ち、バレーボールを通してスポーツの楽しさを体感させ、生活を豊かにするとともに、多くの友だちの輪を広げ、健全な成長を促し人間性豊かな選手の育成と、ハラスメント撲滅を目指します。

実践・重点事項

1 福島県小学生バレーボール連盟の組織を、時代のニーズに合わせて強化します。

- (1) 日本小学生バレーボール連盟・福島県バレーボール協会との連携を図る。
 - 県内バレーボーラーひとり一人を支えるため、組織を強化する。
 - 透明性のある運営と、迅速かつ的確な対応で、信頼ある組織を構築する。
- (2) 創立50周年（令和9年度）に向けた準備を開始する。
 - 準備委員会（仮称）を立ち上げ、記念式典等の概要について検討する。

2 健康・安全に留意し、共にプレーができる楽しさを体感させる。

- (1) 日常生活における選手・指導者の健康・安全・生活習慣づくりを推進する。
 - 感染症対策をふまえた新しい生活様式実践とチーム運営
- (2) 練習時・大会開催時の健康・安全管理体制づくりと安全な競技運営をする。
 - 練習時・大会時の各種感染症対策・熱中症対策ガイドラインによる安全な運営

3 暴力・暴言・ハラスメント撲滅のための取り組みを強化する。

- (1) 暴力・暴言・ハラスメントの絶無を目指す指導法改善と指導者の意識変革を図る。

- 指導者並びに保護者のコンプライアンスに関する意識の向上
- 暴力・ハラスメントを見逃さない保護者や他チームからのチェック体制の強化

(2) バレーボールの楽しさを真に体感させ、信頼・尊敬される指導者を育成する。

- 的確なアドバイスと、常に子ども達から学ぶ姿勢を持ち続ける指導者育成
- 時代に即した指導理念と指導方法の実践

(3) 次世代を担う役員、指導者を育成するための人材を発掘する。

- 若手指導者並びに役員の発掘と積極的な登用

4 バレーボール仲間を増やすためのチーム運営とイメージアップを図る。

(1) 日常活動における、よいチームづくりのバレーボール環境整備をする。

- 保護者と指導者間で、指導方針の共通理解を図る良好なチームづくり
- 子どもたちに感謝づくり・仲間づくり・楽しさづくりを目指すチームづくり

(2) バレーボールを取り巻くマイナスイメージを払拭するため、子ども並びに保護者や役員が加重負担にならないような競技会やチーム運営をする。

- 指導者と保護者間で子供中心においた共通認識と運営
 - ・チーム運営について、子どもと保護者の視点から見直し
- 運営費や遠征費に係る出費をできる限り軽減

(3) 低年齢からバレーボールに親しみ、楽しみを味わわせる施策を実施する。

- U-10キッズ交流バレーボール大会の実施
- バレーボールの特性にとらわれない楽しいルールでの実践

○指導者「GOOD COACH」の心得

PATROL「巡回する、見てまわる」

Process：「結果ではなく、経過を重視しましょう」

Acknowledgment：「承認しましょう」

Together：「一緒に楽しみ、一緒に考えましょう」

Respect：「尊敬」しましょう、尊重しましょう」

Observation：「よく観察しましょう」

Listening：「話をよく聴きましょう」

